



新園舎で異年齢交流が始まっています！

新園舎に引っ越して4か月近くが経ち、子どもたちは新しい生活にもすっかり慣れてきました。以上児クラスでは、オープンになっている遊戯室や保育室エリアの中で自分の好きな遊びコーナーへ行って、好きな遊びに没頭したり友だちと誘い合ったりして遊びを広げている姿が見られます。オープンな環境になったことで、異年齢で交流する機会が増え、子どもたちも、自然と隣のお部屋の子に声をかけたり、遊びに誘ったりする場面を見かけることもあります。

年齢の異なる子ども同士の間には、保育者や同年齢の間とは違った、刺激や育ちがあるように感じます。年齢が異なる友だちと活動して交流することで、年上のお兄さんお姉さんの姿に憧れを抱いて「やってみよう」と真似をしたり、自分より小さい子に対して「かわいいね」「お世話してあげる」と優しく接したり、いたわりの気持ちが芽生え、相手の役にたとうと、自分が年下の時にしてもらったことや体験したことを大きくした時にしてあげようとしています。遊びの中から自然と生まれる交流の場を大切にしていきたいと思います。



雪遊びって楽しい～

今年はたくさんの雪が降り、子どもたちは雪遊びを思い切り楽しむことができました。戸外でダイナミックに遊んだり、お部屋の中で初めての雪に触れ感触を楽しんだり、みんな笑顔いっぱい雪遊びを満喫していました。

そんな子どもたちの様子をご紹介します！



豪快にお尻滑り！



雪だるま作ろ～♪



大きな氷、発見！！



お友だちと一緒に最高の笑顔！



かわいいのできたよ～



先生と一緒にそれ～！



雪のトンネルくぐるよ～



初めて触った雪！ちょっと冷たい

手洗いで感染予防！

新園舎の玄関に入ると手洗いコーナーがあります。感染症の予防で園内にウイルスなどを持ち込まないということから、さくらんぼ組(2歳児)～ぶどう組(5歳児)は登園すると手洗いコーナーで手を洗ってからお部屋へと向かいます。また、いちご組やつぼみ組の子どもたちも保育室で手洗いをしています。登園すると自分から手洗いコーナーへと向かう子も多く、手洗いが習慣化してきましたよ。

食事前の手洗いやトイレの後の手洗いなど、生活の中の適切なタイミングに正しい手洗いが身につくよう関わっています。



石子町在住の田方勇様より『想いの花』と題した素晴らしい絵画をいただきました。

「アーティチョークの花」というキク科の朝鮮アザミ属に入る大輪の花を描いた色彩豊かな絵です。子どもたちも「きれいだね」とうれしそうに眺めています。ありがとうございました。

「想いの花」

